【様式2－②】オープンイノベーション促進システムについて

　※申請時は青字による注釈等を全て削除してから提出してください。

　※フォントはMSゴシック、フォントサイズは12ポイントとしてください。

　※適宜、図表を入れても構いません。

1. オープンイノベーション促進システムの全体構成

オープンイノベーション機構

|  |
| --- |
| ※初年度における研究開発テーマ名（資金規模）を記載してください。①　・・・・（○○千円）②　・・・・（○○千円） |

共同研究コンソーシアム

|  |
| --- |
| ※初年度における研究開発テーマ名（資金規模）を記載してください。※産学協創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）など国から支援を受けている場合（申請予定も含む）は、その旨を記載してください。※共同研究コンソーシアムは、民間企業が参画する研究開発テーマのみを記載してください。①　・・・・（○○千円）②　・・・・（○○千円）※OPERA |
| （コンソーシアム参画企業）1. ●●株式会社、・・・・
2. ●●株式会社、・・・・
 |

（イ）設置の趣旨・必要性

※申請大学における産学連携を取り巻く環境と課題を踏まえ、オープンイノベーション機構を新たに設置する目的、必要性について記載してください。なお、記載に当たっては既存の産学連携本部等との役割の相違点及び連携による相乗効果が分かるよう記載してください。

（ウ）集中的なマネジメント体制の考え方及び特色

※申請大学の規模、組織形態を踏まえ、外部からの招へい、アウトソース、学内教職員の再配置などにより、クリエイティブ・マネージャーを中心とする集中的なマネジメント体制をどのような考え方に基づき構築するのか記載してください。

※また、様式２－①（イ）「体制図」に基づいて、本事業により雇用する人材により、どのように最適化が図られ、どのような機能を重点的に担い、特色としていく計画なのか記載してください。

（エ）経営戦略（大学の運営方針との関係性を含む）・事業終了後を視野に入れた目標

〔経営戦略〕

※オープンイノベーション機構のマネジメントにより競争領域を中心とした大型の共同研究を獲得し、自立的な経営を行っていくための戦略について、大学の運営方針にも触れながら記載してください。

〔目標〕

※経営戦略を踏まえ、事業終了後を視野に入れた目標（民間資金獲得額を含む）を記載してください。

（オ）企業への企画・提案マネジメントの考え方及び特色

※オープンイノベーション機構が中心となって、企業への企画・提案機能をどのように強化していくのかについて具体的な考え方を示し、どのような点に特色があるのか記載してください。

（カ）研究者チーム編成の考え方及び特色

※研究者を研究領域や学部等を横断して研究プロジェクトチームとしてどのように編成していくのか、その考え方や具体的な方策等について示し、どのような点に特色があるのか記載してください。

（キ）共同研究コンソーシアム形成の考え方及び特色

※競争領域を中心とした大型共同研究をオープンイノベーション機構が持続的にマネジメントしていくための基盤づくりのため、複数企業による非競争領域の共同研究コンソーシアムをどのように形成し、将来的に大学の有する研究リソースを効果的かつ最大限に活用し得る可能性を有しているか、また、オープンイノベーション機構に具体的に連結させていく計画なのか、その特色について記載してください。

【様式2－③】資金調達

　※申請時は青字による注釈等を全て削除してから提出してください。

　※フォントはMSゴシック、フォントサイズは12ポイントとしてください。

　※適宜、図表を入れても構いません。

1. 財務マネジメント体制の考え方及び特色

※オープンイノベーション機構の自立的経営のための財務管理体制の考え方及び特色を記載してください。特に、公募要領「『３．事業の概要』（１）①（イ）経営の自由度を確保するための適切な責任・権限体系の確立、財務管理体制の構築について」を参考に関連した取組があれば記載してください。

1. 自立的経営の財源となる民間資金の獲得の具体的方法、目標額及びその前提条件

※様式２－①－（サ）の「自立的経営の財源となる収入」の各項目について、様式２－②－（エ）との整合性を踏まえ、民間資金獲得の具体的方法及び目標額を記載のうえ、当該目標額を獲得するための前提条件の考え方を記載してください。

〔民間資金獲得の具体的方法及び目標額〕　　　　　　　　　　　　　　（百万円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 民間資金獲得方法（積算方法） | 目標額（上段：総額、下段：OI機構配分額） | 機構への配分 |
| FY2018 | FY2019 | FY2020 | FY2021 | FY2022 | FY2023（事業終了時） |
| 人件費相当額（アワーレート） | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | 全額 |
| ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● |
| 間接経費（直接経費の〇％） | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | 50％ |
| ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ |
| ライセンス収入 | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | 50％ |
| ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ |
| 戦略的産学連携経費（直接経費の〇％） | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | 全額 |
| ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● |
| 民間資金計 | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● | ●● |  |
| ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ |
| 補助金充当額 | 170 | 170 | 170 | 127 | 85 | 0 |  |
| 機構運営経費 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |  |

（注）補助金充当額は、初年度の申請金額を基準として、１～３年目100％、４年目75％、5年目50％として記載してください。

（注）オープンイノベーション機構における民間資金獲得の目標額を把握するため、共同研究コンソーシアムに係る目標額は除いてください。

〔目標額獲得の前提条件〕

※例えば、「事業終了後に、間接経費の目標額○○百万円を達成するためには、少なくとも、○○百万円規模の研究開発プロジェクトを〇件以上実施することを前提条件とする。」など、それぞれの民間資金獲得方法ごとに、民間資金獲得の目標額の前提条件の考え方を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 民間資金獲得方法（積算方法） | 前提条件 |
| 人件費相当額（アワーレート） |  |
| 間接経費（直接経費の〇％） |  |
| ライセンス収入 |  |
| 戦略的産学連携経費（直接経費の〇％） |  |

【様式2－④】知的財産・リスク管理

　※申請時は青字による注釈等を全て削除してから提出してください。

　※フォントはMSゴシック、フォントサイズは12ポイントとしてください。

　※適宜、図表を入れても構いません。

1. 知的財産戦略及びマネジメント体制の考え方及び特色

※オープンイノベーション機構が企業の事業戦略に深く関わる研究開発を行う上で、大学が保有する知的財産を最大限活用するための知的財産戦略及びマネジメント体制について、具体的な考え方を示し、どのような点に特色があるのか記載してください。

〔知的財産戦略〕

〔マネジメント体制〕

1. 保有する知的財産の競争優位性

※オープンイノベーション機構が企業の事業戦略に深く関わる研究開発を行う上で必要となる、知的財産の競争優位性について、どのような点に特色があるのか記載してください。

〔特許〕※必要に応じて、下表を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 特許リストの整理番号 |  |
| 競合・類似技術の状況 | ※他の技術の状況を記載してください。 |
| 競合・類似技術に対する優位性 | ※他の技術と比較した優位性を記載してください。 |

（注）特許リストの全ての特許ごとに記載してください。

〔特許以外の知的財産〕

（ウ）リスク管理体制の考え方

※オープンイノベーション機構が企業の事業戦略に深く関わる研究開発を行う上で必要となるリスクマネジメントについて、どのような考え方に基づいて、どのような体制を構築するのか記載してください。

〔利益相反マネジメント〕

〔技術流出防止マネジメント（営業秘密管理、安全保障貿易管理）〕

【様式2－⑤】研究開発プロジェクト

　※申請時は青字による注釈等を全て削除してから提出してください。

　※フォントはMSゴシック、フォントサイズは12ポイントとしてください。

　※適宜、図表を入れても構いません。

（ア）プロジェクト・マネジメントの考え方及び特色

※オープンイノベーション機構が扱う研究開発の内容は競争領域が中心となることが想定されるため、研究開発の開始から完了までのプロセスにおいて、高度なマネジメントが求められることが考えられます。申請大学において具体的にどのようなプロジェクト・マネジメントを行うのか、その考え方と特色について記載してください。

（イ）研究成果の事業化に向けたマネジメント体制（外部のＴＬＯ、ベンチャーキャピタルとの関係を含む）

※オープンイノベーション機構において企業の事業戦略に深く関わる共同研究を実施し、その成果の事業化にむけてどのようなマネジメント体制を築いていくのかについて、外部の大学発ベンチャー、ＴＬＯやベンチャーキャピタル等の活用も含め記載してください。

1. 研究開発プロジェクトの概要、特色・先進性、事業化の見通し

※オープンイノベーション機構において、自立的経営の財源となる主な研究開発プロジェクトについて、以下の（ⅰ）～（ⅳ）について記載してください。

※主な研究開発プロジェクトが複数ある場合は、オープンイノベーション機構の収入源（予定）のうち合算して７割を超える複数のプロジェクトについて、民間資金（FY2018年度）の獲得予定額の降順に記載してください。

（ⅰ）基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発プロジェクト名 |  |
| 研究代表者 |  |
| 実施期間 | FY2018年●月●日～FY20xx年●月●日 |
| 民間資金（FY2018年度） | 〇〇千円 |
| 参画企業名 |  |
| バックグラウンド特許群 | 有・無（有の場合は、特許リストの整理番号） |

　（注）民間資金は間接経費を含む。

（ⅱ）概要

（ⅲ）特色・先進性

（ⅳ）事業化の見通し

【様式2－⑥】オープンイノベーション機構を通じた大学改革へのアクション

※オープンイノベーション機構の設置を通じて、大学全体として改革アクションがあれば記載してください。